

5-5. ロケータや治具の取付

- ・ チャックボデー表面にロケータや治具を取り付ける場合は、図 12 に示す追加工範囲内に穴明けを行ってください。

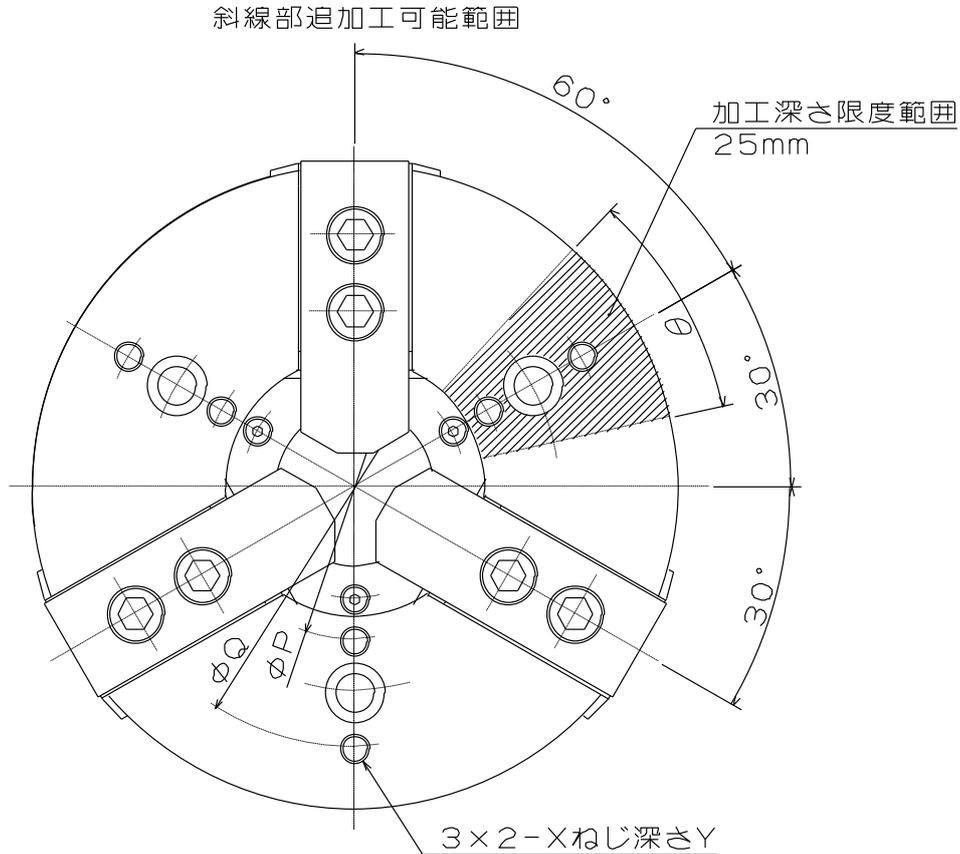


図 12

表 6

形式	θ	P(mm)	Q(mm)	X	Y(mm)
BS306	30°	$\phi 77.5 \pm 0.2$	$\phi 140 \pm 0.2$	M8	14
BS308	35°	$\phi 100 \pm 0.2$	$\phi 170 \pm 0.2$	M10	16
BS310	45°	$\phi 128 \pm 0.2$	$\phi 216 \pm 0.2$	M10	18

危険

- 許可された範囲以外のチャックの改造をしてはならない。チャックが破損するだけでなく、チャックや工作物が飛散する恐れがあり、危険。
- ロケータまたは治具には遠心力による飛散防止対策(ドゥエルピン等)を施し、十分な強度のボルトで取り付けること。ロケータや治具が飛散する恐れがあり、危険。